

メインバンク機能強化

J A 岐阜信連会長ら強調

本社来訪

県信用農業協同組合連合会(J A 岐阜信連)の櫻井宏経営管理委員長と山田幹人代表理事が5日、岐阜新聞社を訪れ、本年度スタートした県下J Aバンク中期戦略について、農業メインバンク機能強化を最優先実践事項とする考えを強調した。



中期戦略について意欲を語る櫻井宏会長(右)と山田幹人理事長＝岐阜新聞社

県信用農業協同組合連合会(J A 岐阜信連)として、特に担い手などの農業者に対する支援に積極的に取り組む」と意欲を語った。

中期戦略は2018年度まで3年間の岐阜県の行動計画。農業

指す。

具体的には大規模農業法人への融資拡大、J A・6次化ファンドを活用した出資のほか、新規就農者への独自支援として「新規就農応援資金給付制度」などに取り組む。

県内農畜産物の消費拡大を目指す、18日から「J A農畜産物直売所応援定期貯金」の取り扱いを開始。山田理事長は「岐阜県の農畜産物の素晴らしさを知ってもらい、担い手など農業者の所得増加につなげていきたい」と力を込めた。